



開院45周年記念祭開催される

去る5月15日から20日にかけて、開院45周年記念行事を行いました。15、16日はスパー「ベイシア」において、19、20日には病院ホールにて医療相談等を行いました。そして20日の18時からは、特別講演を「皮膚科の現状と当院の役割」と題して、当院皮膚科 柳堀浩克先生より、また、「癌治療の最前線」を福島県立医科大学付属病院院長、竹之下誠一先生よりご講演いただきました。午前中の雨も上がり、多くの地域の方々にお越しいただきました。また、講演後の懇親会にも沢山の方にご参加いただき、意見の交換ができました。講演内容の一部について紹介いたします。

「癌治療の最前線」

福島県立医科大学付属病院 院長 竹之下 誠一 先生



ヒトゲノム（人が持つすべての遺伝子情報）について

女性では子宮癌、乳癌が増えて来ています。胃癌に関しては、日本の健診技術の発展により、健診による早期発見では100%近く死亡しなくなりました。

今や日本は3人に1人は癌で亡くなる時代であり、死亡数は年間30万人以上で、死亡原因のトップとなっています。そのようなことから、国策としていろんな政策が行われています。部位別死亡率は、全体で胃癌は減っていますが大腸癌は増えており、男性では肺癌、

現代医療の癌戦略

今まででは癌は治療で直していましたが、これからは遺伝子の様子によって治療法を変える時代が来ています。現代の医療は、手術療法、化学療法（抗癌剤による治療）、放射線療法、細胞免疫療法があります。そして、日本中どこにいても同じ治療が受けられるようになります。あらゆる治療のガイドラインができるます。それに沿った治療を受かるかどうかは患者さんが決めます。

一般的に大腸癌の手術は、早期はお腹に穴を開けて行う腹腔鏡手術、進行癌は開腹手術となっていますが、進行癌でも7割位は腹腔鏡手術で出来るのですが、大腸癌の流れです。そして、今まであらゆる機能を取っていましたが、乳癌と同じようにすべての機能を温存するようになっています。更に、遺伝子診断を応用した術式選択も行っています。これは、あらゆる大腸癌ではなく遺伝する癌に対して行われます。一般的癌のうち遺伝する癌は5%以下で、残りの95%は遺



伝しません。遺伝する癌とは、普通正常な遺伝子を持つて生まれますが、親から異常な遺伝子をもつて生まれたことにより起る癌です。このような癌に対し遺伝子診断による手術が行われています。

化学療法（抗癌剤）による治療も昔と違った効くようになり、末期癌で手術が出来ない場合でも、化学療法により延命できるようになりました。ここでも、遺伝子の形によって抗癌剤を使い分ける時代が来ています。

放射線療法も効くようになり、術前に照射し癌を縮小させ、その後手術することにより周りの神経など温存できるようになりました。また、放射線療法により再発した癌細胞が消えてしまふ例もあり、将来は手術しないで済む時代が来るかもしれません。

大腸癌臨床の今後の課題としては、早期癌、肝転移、局所再発を鋭敏に診断しうる遺伝子を見つけて行くこと、かなり進んだ癌でも腹腔鏡手術を出来るように工夫すること、また、新規抗癌剤を開発して行くことです。

今、医療を取り巻く環境はあらゆる面で厳しさを増しています。外科医は多様化する治療法の提供のために日頃より知識、技術の向上に努めなければなりません。そして、患者さんとよく話を個々にあわせた治療の実践を行っていきたいと思っています。



演者

皮膚科の疾患は「いぼ」や「ニキビ」など数多くの俗称が存在していますが、皮膚科で言うところの「いぼ」は「尋常性疣瘡」、「ニキビ」は「尋常性痤瘡」など、一般的には聞きなれない正式名称があります。

これは、皮膚科の疾患というのは昔から、生活に密着した病気が数多くあると言うことを意味しているのではなくでしょうか。そのため、民間療法も数多くみられ、普段診療していくとびっくりするような民間療法を行なっている患者様も大勢おり、中には病気が悪化する場合もあります。また、アトピー・ビジネスなどにも見られるように、怪しげで

いません。また、皮膚科は比較的開業しやすいという側面や、女性の割合も高いので、出産を期に辞めてしまう女性医師や、非常勤として週に2回程度働く女性医師の数も多いという側面を持つため、病院で働く常勤医は非常に不足しています。そのため福島県では、ほとんどの常勤皮膚科医は1人で診療を余儀なくされている現状です。現在私も、一人体制で診療をしていますが、一人で毎日外来をこなし、入院患者様の治療も行い、手術や皮膚病理、病院当直など、自分の責任で行なわなければなりません。当院の役割としては「わたしたちは、地域の皆様

「皮膚科の現状と当院の役割について」

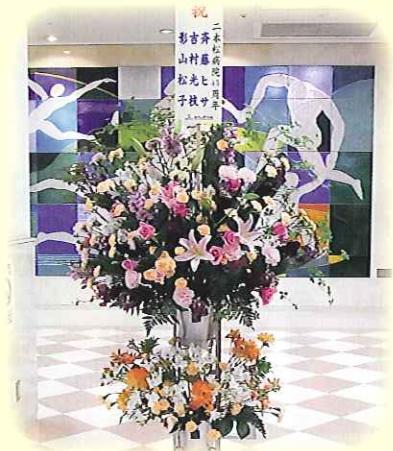
皮膚科医師 柳 堀 浩 克

現在の医学教育のシステムでは、医学部を卒業後2年間の初期研修が義務付けられています。その間に内科、外科、小児科、産婦人科などを研修するのですが、そこで医療の現実を知り、比較的自分の時間が持て、人の生死に関わることの少なく、また福島県でも問題になっている医療訴訟の少ない科を選ぶ研修が増えてきていると聞きます。その一つの候補が皮膚科です。実際に東京などの大都市では皮膚科医の数が増加しており、人口10万人あたりの皮膚科専門医数は東京都では7・44人と比較的満たされていますが、福島県は医師の絶対数が不足していることもあり、2・88人（全国ワースト2位）と東京の半分以下しかいません。また、皮膚科は比較的開業しやすいという側面や、女性の割合も高いので、出産を期に辞めてしまう女性医師や、非常勤として週に2回程度働く女性医師の数も多いという側面を持つため、

ベイシアにて医療相談の様子



に安心を提供するため、保健、医療、福祉の向上に努めます」という基本理念のもと、地域に貢献できるような診療をしていくことであるとだと思いますので、少しでも自分が地域住民の皆様の役に立てるよう頑張っていきたいと思うのですが、病院は診療所（開業医）とは違う、入院患者様を中心とした重症患者も扱わなければなりません。そのため、外



影
斎
吉
山
藤
村
松
ヒ
光
子
サ
ん
枝
さ
ん
よ
り

職員OBより、開院45周年記念のお祝いに、お花を戴きましたので紹介いたします。

前略

開院45周年おめでとうございます。
いつも何かとお世話になっております。
又、開院記念祭のご案内を戴きありがとうございました。
ほんの気持ちばかりですが何処か隅の方にでも置いて下さい。
菅野節子さんより



来診療は皮膚科開業医のように午後まで診察することはできません。その点は皆様にもご理解をいただきたいと思います。本来であれば、皮膚科医がしっかりと皮膚疾患の治療を行なうべきですが、福島県では皮膚科を専門とする開業医すらも足りない状況のため、かかりつけの他科の先生方に皮膚疾患を診て頂いている現状があります。それでよくなれ

ば良いのですが、なかなか皮膚科専門医でなければ難しい疾患もあります。このことの難しい疾患を扱うことでも、皮膚科専門医が常勤する当院の役割と考えていますので、どうしても良くならないときは、当院を一度受診するようお願いします。

【栄養課より】

ためしてレシピ！

玉ねぎと豚肉のカレー炒め

炒め終わる前にからめるカレー粉の濃厚な香りがたまいません！ので、お試しください。



*材料 4人分

海豚ロースとんかつ用肉	大4枚(500g)
玉ねぎ	2個
酒・片栗粉	大さじ1
ごま油	小さじ1&大さじ2
塩	小さじ1/2
イタリアンパセリor三つ葉	少々
カレー粉	大さじ1
中農ソース	大さじ4

*作り方

- ① 豚肉を1.5cm幅に切ってポールに入れ、酒、片栗粉、ごま油、塩を加えてもみ込む。玉ねぎは縦半分に切り、纖維と直角に幅1cmに切ってほぐしておく。Aを混ぜ合わせておく。
- ② フライパンにごま油大さじ1を中火で熱し、豚肉を2~3分炒める。焼き色がついたら玉ねぎを加え、玉ねぎがしんなりするまで3~4分炒め合わせる。Aを入れてよくからめ、青味を加えてさっと混ぜて、火を止めて出来上がり。

患者様が来なければ病院ではない

最後に

地域の皆様に安心を提供し、職員がいきいきと働く病院を目指し努力いたします。皆さんのご理解とご協力をお願いいたします。

事務局長

【基本的な考え方として】

・医業収益が伸び悩んでいる中での独立

採算

・整理合理化に対応できる経営の安定
・病院機能評価の更新（6月19日～21日受審）

・特定健診・特定保健指導の円滑な実施
・診療報酬改定への対応

1、診療体制の充実・整備

・二次救急体制の強化、介護施設の後方支援病院の位置づけ強化、地域医療連携室の強化による無床診療所・隣接病院との連携、特定健診・特定保健指導の強化、医療・介護の両立と開放病床の提供、医事会計システムの更新、電子カルテ・オーダリングシステムの検討、地域医療従事者の育成、腎センター整備

2、患者サービス強化対策

・医療・介護・福祉・保健予防の連携による地域密着型病院、委員会等活動展開によるアメニティ向上、開院記念祭・出前講演等による啓蒙活動、後期高齢者医

療制度によるかかりつけ医の支援
3、職員の研究・研修計画

年間計画に基づく研修会の実施、専門資格取得への参加、学会発表の推進、専門・認定看護師の育成推進（研修会参加後、得た知識をできる限り伝達研修を行う）

4、業務の簡素化・効率化の推進

院内ランによる情報の共有化と効率化の推進、適材・適所配置と計画的採用による人事（仕事は常に工夫をし、簡素化、効率化を図る）

5、その他

病院機能評価の更新、病院ホームページ等による情報開示の推進、評価制度にてどれだけやり得たのかを評価する）

【重点事項】

収益の確保

・病床利用率を高める
・地域医療連携室を強化発展し、地域に根ざした医療・福祉の充実を図る
・地域住民のニーズに応える

経費の削減

・医療用消耗品・事務用品の節減
・医薬品の共同購入（全社連）
・価格情報の入手及び価格交渉

人材の育成及び確保

・個人目標及び評価制度の完全実施
・評価に基づく処遇の向上
・質保証への取り組みとして

・情報の徹底した伝達
・部門間の連携強化（情報の伝達を徹底し、横の連携の強化を図る）

直しとそれらの遵守を徹底する。設備管理、危機管理、制度管理の重要性を知る。
・各種委員会の整理及び活発化
・情報交換

看護局長

【看護局理念】

豊かな人格と感受性を持ち、地域から信頼される病院を目指します

【看護局方針】

1、安全・安心の看護を提供致します
2、患者様には優しさをもって接します
3、他職種との連携を強化しチーム医療の実現に努めます
4、看護の質向上をめざし自己研鑽に励みます（安全・安心の看護を提供致します）

して

・インシデント・アクシデント報告の

増加により、改善事項が増えています。職員のリスク感性は高まりつづける。職員のリスク感性は高まりつつある。

今年度の看護局は「優しさから信頼へ」をテーマに、「何かが変わった」と看護師自身が感じるよう努めています。

個人への依存から組織的な活動に変換する。マニュアル、手順書等の見直しとそれらの遵守を徹底する。設備管理、危機管理、制度管理の重要性を知る。
・チームナーシング方式
・患者様一人一人に担当の看護師を決め、責任を持ってケア計画や生活支援の検討を進めて行く。（患者様には優しさをもって接します）
・その人らしい生き方ができるように看護支援する
・他職種との連携を強化しチーム医療の実現に努めます。
・組織と業務分担を理解し、目標を共有して価値あるチームの編成をする
・ホウ・レン・ソウの鉄則
・何を、いつ、誰に伝えるべきかを考える。看護の質向上をめざし自己研鑽に励みます。
・看護の「見える化」を図る
・看護の業務は数値化が難しくプロセス評価も複雑である。
・看護の評価が見える伝達をする。記録の充実（正確な情報と誰が見ても分かる記録作成）。

個人への依存から組織的な活動に変換する。マニュアル、手順書等の見直しとそれらの遵守を徹底する。設備管理、危機管理、制度管理の重要性を知る。
・情報の徹底した伝達
・部門間の連携強化（情報の伝達を徹底し、横の連携の強化を図る）
直しとそれらの遵守を徹底する。設備管理、危機管理、制度管理の重要性を知る。
・各種委員会の整理及び活発化
・情報交換
・チームナーシング方式
・患者様一人一人に担当の看護師を決め、責任を持ってケア計画や生活支援の検討を進めて行く。（患者様には優しさをもって接します）
・その人らしい生き方ができるように看護支援する
・他職種との連携を強化しチーム医療の実現に努めます。
・組織と業務分担を理解し、目標を共有して価値あるチームの編成をする
・ホウ・レン・ソウの鉄則
・何を、いつ、誰に伝えるべきかを考える。看護の質向上をめざし自己研鑽に励みます。
・看護の「見える化」を図る
・看護の業務は数値化が難しくプロセス評価も複雑である。
・看護の評価が見える伝達をする。記録の充実（正確な情報と誰が見ても分かる記録作成）。

今年度の看護局は「優しさから信頼へ」をテーマに、「何かが変わった」と看護師自身が感じるよう努めています。

今年度の看護局は「優しさから信頼へ」をテーマに、「何かが変わった」と看護師自身が感じるよう努めています。

人事

副院長昇任	山崎 正明 (6/1)
退職	永山 誉人 (5/31)
採用	松田 真紗美 (6/4)
看護師	矢野 良彦 (6/1)
育休復帰	出発地：北海道旭川市 趣味：ドライブ、旅行、サッカー観戦等 好きな言葉：思いやり頑張る 抱負：患者様にやさしい技師だったと思われるよう頑張ります。病院のためにも努力します。

庶務だより

新入職員紹介 (6/1採用)



矢野 良彦 診療放射線技師

院内ミニ学会 審査結果

ミニ学会賞

「訪問看護ステーションにおける災害対策への取組み」
訪問看護ステーション 斎藤 佐和子

入賞

「抗癌剤暴露に関する調査研究」

薬剤部 斎藤 潤

「当院での摂食機能療法への取組み」

NST委員会 石橋 和枝

「CTにおける3D画像作成マニュアルの検討」

放射線部 中村 好

「認知症高齢者に対する情報の共有化を試みて」

4階病棟 黒澤 チ工

特別賞

「二兎を追うものは一兎も得ず」

サービス向上委員会 松岡 久光

3月27日に行われた、院内ミニ学会において、23演目の中から以上の方々が受賞されました。

なお、この中から10月に宇和島で開催される社会保険医学会で、訪問看護ステーション、薬剤部、NST委員会、4階病棟が発表することになりました。

永年勤続者表彰行われる

30年	薬剤部長 小島 信嘉
施設課長 大滝 晴央	
看護師 武田満里子	
20年	
看護係長 橋本 淳子	10年
庶務係 南 良恵	泌尿器科部長 松岡 久光
検査技師 鳴原安美登里	内科部長 永路真由美
検査技師 佐久間康子	放射線技師 中村 好
看護師 渡辺 隆子	看護師 黒澤 春江
看護補助 渡辺 洋子	



病院理念

わたしたちは、地域の皆さんに安心を提供するため、保健、医療、福祉の向上に努めます

看護局理念

豊かな人格と感受性を持ち地域から信頼される病院を目指します。

平成20年度 病院理念、看護局理念

福島県より、平成20年5月1日付けで「地域リハビリテーション相談センター」として、指定を受けましたのでお知らせいたします。

お知らせ

アジサイについて調べると、原産地は日本で、その種類は約150種ありますが、近年ではヨーロッパで改良された品種が400から500種にもなっています。また、色の変化は土や肥料によるもので、酸性の土なら青鉢植えで見かける色彩豊かな大輪のアジサイは、多くが西洋アジサイのことです。また、色の変化は土や肥料によるもので、酸性の土なら青色、アルカリ性の土なら桃色になります。そんなことを頭に置きながら、今もアジサイを楽しみたいと思いま

(M記)

ます。 6月と言えば「梅雨」ですよね。ジメジメして洗濯物は乾かないし、髪はボサボサになるし、気分もスッキリしないし、嫌な季節ですね。ただ、アジサイの花は雨に濡れた方がとつてもきれいで、心を和ませてくれます。私は、雨上がりにアジサイを見に出かけたり、家の中にも飾つてみたりします。唯一、この時期ならではの楽しみで、少々気分も晴れます。

編集後記

今年の目標
笑顔 親切 寛容
心から笑顔かけて
声かけて
高橋 富美子